

こころのつながりをよもう（１年）

お手がみ

●指導目標

「お手がみ」の場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読み，一度も手紙をもらったことがないがまくんに心温まる手紙を書いたかえるくんのやさしさや，がまくんとかえるくんが友だちであることを幸せに感じている二人に共感するとともに，童話の世界を楽しむことができる。

（１）態度

楽しんで読もうとすること。読む

表現に即して場面の様子や登場人物の気持ちを思いうかべながら読もうとすること。読む

（２）技能

○ 話のあらすじをたどりながら読むこと。読む

○ 表現に即して，場面の様子や登場人物の気持ちを想像すること。読む 書く

○ 場面の様子や登場人物の気持ちを思いうかべながら音読すること。読む

（３）言語事項

● 作品を読むために必要な語句を文脈の中で理解すること。

● 主語と述語の関係に注意して読むこと。

● 新出漢字を読んだり書いたりすること。

●教材について

（１）児童の実態

技能の習熟度

○人物の気持ちを想像する技能について

ア．想像の手がかりになる言葉を的確にとらえ，想像することができる。… 8 名

イ．想像の手がかりになる言葉の一部に反応しているので，想像がたりない。… 14 名

ウ．表現に即さない勝手な想像をしている。… 2 名

ほとんどの子どもが，おおまかな想像をすることができる。手がかりとなる言葉をおさえ，根拠を明確にして想像することが十分にできない子どもが多いので，手がかりになる言葉をおさえ意味を明確にしながら想像するようにする。

（２）習熟度に応じた学習シートの開発

○人物の気持ちを想像する技能について

♥：手がかりになる言葉をおさえて適切に想像できるので，自由に読み，自由に書くことができるシートで学習する。

◆：手がかりになる言葉をおさえることが不十分なので，手がかりになる言葉にサイドラインを引かせ，リード文のついたシートで学習する。

♠：読んだり書いたりする技能が十分でない。まず，リード文に沿って読むと，想像の手がかりになる言葉に反応できるようにする。次に，それらを書き，書いた言葉を手がかりにして気持ちを想像させる。

（３）シート選択予想人数（児童数 24 名）

コース名	♥コース	◆コース	♠コース
予想人数	10 人	12 人	2 人

● 学習指導計画（全 12 時間）

過程と時間	行動的目標	課題	学習評価
直観読み 第12時	「お手がみ」を直観的に読んで、登場人物や話のあらすじを書いたり話したりすることができる。 <あらすじ> (1) がまくんとかえるくんは悲しい気持ちで手がみを待っていました。 (2) かえるくんは大急ぎでがまくんに手がみをかきました。 ・ (3) かえるくんはがまくんの家へ戻り、一緒に手がみをかくのを待っていました。 (4) かえるくんががまくんに手がみをかいたことを話しました。そして、二人はしあわせな気持ちで手がみを待っていました。 (5) かえるくんの手がみを受け取ってがまくんはとても喜びました。	「お手がみ」は、どんなおはなしですか。 学習シート シート1（略）	観点・登場人物をおさえ、話のあらすじをとらえることができたか。 基準・行動的目標による A ... 5枚の挿絵を並べ、話のあらすじをとらえている。 B ... 5枚の挿絵を並べ、話のあらすじに一部読み落としがある。 C ... あらすじがとらえられていない。
分析読み 第3時	がまくんが悲しそうな顔をしている場面（第1場面）を読んで、その場面の様子やがまくんやかえるくんの気持ちを次のことばを手がかりに想像し、話したり書いたりすることができる。 がまくん：一日のかなしいときなんだ ふしあわせな気持ちになるんだ よお手紙もらったことないんだもの 一ども・ゆうびんうけは空っぽ かなしい気ぶん かえるくん：一どもかい・かなしい気ぶん	がまくんとかえるくんはどんなことをおもいながら、げんかんのまえにこしをおろしているのでしょうか。 学習シート シート2（略）	観点・悲しい気分で玄関の前に腰をおろしているがまくんやかえるくんの気持ちを思いうかべながら読むことができたか。 基準・行動的目標による 方法・条件法による自己評価 A ... がまくんやかえるくんの気持ちを表す言葉をおさえ、がまくんやかえるくんの悲しい気持ちを想像することができる。 B ... がまくんやかえるくんの気持ちの想像が不十分である。 C ... 表現に即さない勝手な想像をしている。
分析読み 第4時	かえるくんが手紙を書いて、かたつむりくんへ渡した場面（第2場面）を読んで、かえるくんの様子や気持ちを次のことばを手がかりに想像し、話したり書いたりすることができる。 かえるくん：大いそぎでいえへかえりました。・とび出しました おねがいだけど、ゆうびんうけにいれてきてくれないかい。	かえるくんは、どんなことをおもいながら、手がみをかいたのでしょうか。 そして、かえるくんは、その手がみをどんなことをおもいながら、かたつむりくんにわたしたのでしょうか。 学習シート シート3（略）	観点・がまくんに手がみを書いたかえるくんの気持ちを思いうかべながら読むことができたか。 基準・行動的目標による 方法・条件法による自己評価 A ... かえるくんが急いでいる様子を表す言葉をおさえ、かえるくんががまくんを思う気持ちを想像することができる。 B ... がまくんの気持ちの読み取りが不十分である。 C ... 表現に即さない勝手な想像をしている。

分析読み 第5時	がまくんがあきらめてベッドで寝ている場面（第3場面）を読んで、次のことばを手がかりにがまくんとかえるくんの気持ちを想像し、話したり書いたりすることができる。 がまくん：いやだよ・ぼく、もうまってるのあきあきしたよ・そんなことあるものかい・手がみをくれる人なんて・いるとはおもえない・ばからしい かえるくん：お手がみがくるのをもうちょっとまってみたらいい・ひょっとして・まどからのぞきました	ねているがまくんは、どんなことをおもっているのでしょうか。 そして、がまくんの気持ちをかいたかえるくんは、どんなことをおもいながら、まどのそとをみているのでしょうか。 学習シート シート4（略）	観点・あきらめて寝ているがまくんや手がみを待つかえるくんの気持ちを思いうかべながら読むことができたか。 基準・行動的目標による 方法・条件法による自己評価 A...寝ているがまくんと手がみを待っているかえるくんの様子を表す言葉をおさえ、あきらめて寝ているがまくんや今か今かと待っているかえるくんの気持ちを想像することができる。 B...がまくんやかえるくんの気持ちの読み取りが不十分である。 C...表現に即さない勝手な想像をしている。
分析読み 第6時 （本時）	かえるくんががまくんに手紙を書いたことを打ち明ける場面（第4場面）を読んで、次のことばを手がかりにがまくんやかえるくんの気持ちを想像し、話したり書いたりすることができる。 がまくん：きやしないよ・ああとてもいい手がみだ・とてもしあわせな気持ち かえるくん：ずっと・きつと・しんあいなるがまがえるくん・しんゆうであることをうれしくおもっています・とてもしあわせな気持ち	かえるくんはがまくんにどんなことをおもいながら、手がみをかいたといたのでしょうか。 そのあと、がまくんとかえるくんは、どんなことをおもいながら手がみをまっていたでしょう。 学習シート シート5 （最終ページ参照）	観点・かえるくんががまくんに手がみをかいたことを知り、しあわせな気持ちで手がみを待っているがまくんととかえるくんの気持ちを思いうかべながら読むことができたか。 基準・行動的目標による 方法・条件法による自己評価 A...かえるくんが手がみをかいたことを知ったがまくんの様子を表す言葉をおさえ、しあわせな気持ちで手がみを待つがまくんやかえるくんの気持ちを想像することができる。 B...がまくんやかえるくんの気持ちの読み取りが不十分である。 C...表現に即さない勝手な想像をしている。
分析読み 第7時	がまくんが手紙をもらった場面（第5場面）を読んで、次のことばを手がかりに手紙をもらった時のがまくんの気持ちを想像し、話したり書いたりすることができる。 がまくん：ながいことまっていた・とてもよろこびました	がまくんは手がみをうけとったとき、どんなことをおもったのでしょうか。 学習シート シート6（略）	観点・手がみをうけとったときのがまくんの気持ちや様子を表す言葉をおさえ、がまくんの気持ちを思いうかべながら読むことができたか。 基準・行動的目標による 方法・条件法による自己評価 A...手がみをうけとったときのがまくんの様子を表す言葉をおさえ、がまくんの気持ちを想像す

8 時			ることができる。 B ...がまくんの気持ちの読み取りが不十分である。 C ...表現に即さない想像をしている。観点・がまくんになってかえるくんに返事を書くことができたか。
体制 読み 第 9 ・ 1 0 ・ 1 1 時	全文を体制的に読み，二人の友情に共感し，童話の楽しさをいっそう味わうことができる。	がまくんになって，かえるくんに手がみをかきましょう。	観点・がまくんになってかえるくんに返事を書くことができたか。 基準・行動的目標による。 方法・相互評価 A ...かえるくんのやさしさに触れて返事を書くことができる。 B ...かえるくんのやさしさに触れる内容がやや不十分である。
発 展 第 1 2 時	アーノルド＝ローベルのほかの作品を楽しんで読むことができる。	「お手がみ」をかいた人のほかのおはなしもよんでみましょう。	観点・いろいろなお話を進んで読もうとすることができたか。 方法・行動観察による教師の評価 A ...いろいろな作品を自分で選んで読むことができる。 B ...すすめられた作品を読むことができる。

学習過程	学習内容 (態度 ○技能 ●言語事項)	学習活動 (てだて)	□留意点 評価の観点
課題  方法 	がまくんやかえるくんになって、楽しんで読もうとすること。 ○手がみを書いたことを話した時の気持ちを想像しながら読むこと。 ○手がみを待っているがまくんとかえるくんの気持ちを想像しながら読むこと。 ○がまくんやかえるくんの気持ちを想像しながら、がまくんやかえるくんになって動作化したり音読したりすること。	1. 本時で学習するところを、挿絵をもとに確認する。 2. 第4場面を直観的に読み、あらすじをおさえる。 3. あらすじをもとにして、詳しく読む課題を教師とともに考え、設定する。 かえるくんはがまくんにどんなことをおもいながら手がみをかいたといっただけでしょうか。 そのあと、がまくんとかえるくんは、どんなことをおもいながら手がみをまっていたのでしょうか。 4. 打ち明けた時のかえるくんの気持ちや手がみの内容について、全体で話し合う。	□ 各自で音読をする時間を取る。 □ あらすじを板書し、あらすじをもとにして詳しく読もうとする気持ちを喚起する。 □ 話し合いながら学習課題を設定する。 □ 読み取る課題は2つあるが、1つめの課題は全体で学習する。

自己学習	● 文脈の中で語句の意味を理解すること。 「しんあいなる」 「しんゆう」 「しあわせなきもち」	5. 課題を解決するための方法を考える。	
		6. 3種類の学習シートを紹介し、自分にあった学習シートを選ぶ。	□ 人数を均等に2つのグループに分ける。
		7. 選んだ学習シートで自己学習をする。 ♥コース 学習方法を確認し、自分の力で自由に読み、がまくんやかえるくんになって、二人の気持ちを自由に書く。 ◆コース がまくんやかえるくんの様子がわかるリード文に続けてがまくんやかえるくんになって二人の気持ちを書く。 ♠コース リード文に沿って想像の手がかりになる言葉や文を読み取り、がまくんやかえるくんの気持ちを考える。	□ スペードコースは個別指導する。
共同学習		8. 自己学習をもとに話し合う。 ・ がまくんやかえるくんの気持ちを発表し合う。 ・ 想像の手がかりになる言葉を押さえる。 ・ 語句の学習をする。 ・ 役割を決めて、がまくんやかえるくんになったつもりで動作化したり音読したりする。	□ 語句の意味を指導し、手がかりとなる言葉をおさえる。
自己評価		9. 話し合いを基に評価基準を設定し、学習をふり返る。 A...がまくんやかえるくんになって二人の気持ちを書いている。 B...がまくんやかえるくんの気持ちが不十分である。 C...表現に即さない勝手な想像で書いている。)	評価の観点 ・ 友だちの発表を聞き、かえるくんががまくんに手紙を書いたことを知り、しあわせな気持ちで手紙を待っているがまくんとかえるくんの気持ちを思いうかべながら話したり書いたりすることができる。
到達		10. かえるくんが手紙を書いたことを打ち明け、二人で手紙を待っている場面を音読する。	○ 役割を決めて数名が音読する。

[illegible][illegible][illegible]